

3月 ほけんちより

令和6年3月1日 あいあい鳳保育園

暖かい日が少しずつ増え、うららかな日差しの中、春が近づいていることを感じるようになりました。3月はまだまだ寒暖差が大きく、急に冷え込むことも。上着を持ち歩いたり重ね着をしたりして、元気に過ごしましょう。進級・卒園まであと少し、4月の頃より、心も体も大きくなった子どもたちの成長に驚いています。

耳を大切にしましょう 【中耳炎】中耳に細菌やウイルスが入り込むことで起こります。

3月3日は

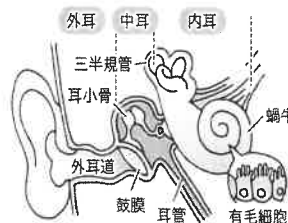


耳の日

風邪を引いてるときなど細菌やウイルスに感染すると、喉から細菌やウイルスが中耳に移動して中耳炎を発症します。

子どもは鼻と耳を繋ぐ管が太く短いため、感染症をきっかけに中耳炎を発症することが多いです。

主な症状⇒耳の痛み、耳だれ、聞こえが悪い、発熱 など



耳がイヤ～なこと、していないかな？

*耳そうじをたくさんする

ほとんどの耳あかは自然に外に出ていくから、耳そうじは2~3週間に1回で十分。耳かきは耳の中を傷つけてしまうことがあるから、綿棒で耳の入り口あたりをやさしくふき取るくらいに。



*鼻を思いっきりかむ

鼻と耳は奥でつながっているから、左右の鼻を思いっきりかむと、バイ菌がたくさん入った鼻水が耳のほうに流れ込んでしまうことがあるよ。鼻をかむときは、片方ずつゆっくりかんでね。

*耳元で大きな声を出す

耳は大切な働きをしているので、耳元で大きな声を出したり、耳や耳の近くを叩かないようにしましょう。



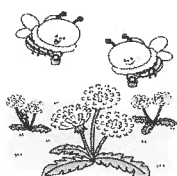
耳は頭の両側に離れてついています。耳から入ってくる情報はとても大切です。片方だけでも病気やケガで聞こえなくなると気づくことが不十分になったりします。ふたつの耳を大切にしましょう。

土踏ますの形成・・・生まれたばかりの赤ちゃんは扁平です。直立二足歩行を行うことで次第に土踏ますぐ形成されてきます。しっかり直立しているためには、足の親指・小指・かかとの3カ所で体重をきちんと支えることが必要で、そのために発達してきたのが土踏ますというくぼみです。

らいおん組(5歳児)のおともだちは、土踏ますの形成に良いと言われている鼻緒の草履(わらじ)を使用し、履きだした当初は、土踏ますが形成されている児は4名でした。しかし卒園前には6名が形成、7名がほぼ土踏ますぐが形成され大きく変化が見られています。小学校にあがるこの時期は、子どもの足は急速に発達しています。

3月の予定

- *乳児身体測定(0~2歳児)・・・5日(火)
- *幼児身体測定(3~5歳児)・・・4日(月)



2月感染症発生状況

- *マイコプラズマ肺炎・・・1名
- *新型コロナウイルス感染症・・・1名
- *溶連菌感染症・・・3名
- *感染性胃腸炎(ノロウイルス)・・・2名

